



1



2



3



4

沖縄に生まれ、あるいは沖縄にゆかりのある16人の作家の作品を紹介します。

This exhibition introduces the works of 16 artists who were born in or have connections to Okinawa.

アジア諸国と交易をおこなっていた琉球王国時代から、沖縄は独自の文化を形成してきました。しかし、日本の一部となった後の1932年、沖縄出身の久志美沙子の小説『滅びゆく琉球女の手記（原題は「片隅の悲哀」）』が婦人公論に掲載されると、ハジチなどの習俗に対する表現をめぐり、在京の沖縄県学生会から抗議が起こり、未完のままとなりました。

本展は、89年前に久志がすぐった「弱者への差別や偏見」という問題を21世紀の今日に受け止め、表現の限界に迫る方法論を実践するアーティストを取り上げます。沖縄系ハワイ移民をルーツに持つアメリカの作家や1977年に発足した沖縄女流美術家協会の作家、沖縄県立芸術大学などで学んだ作家の作品など、約50点を展示します。沖縄美術の多文化的側面と可能性を感じていただき、アートの新たな展開を楽しんでいただけたらと思います。



5



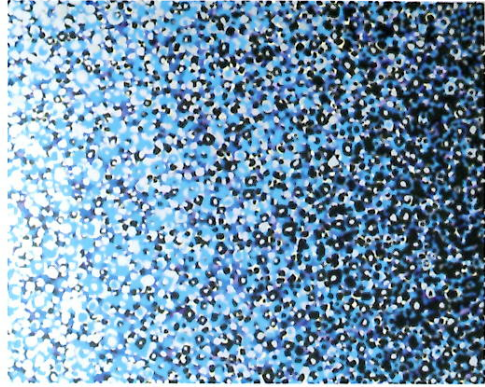
6



7



8



9

- 仁添まりな《人魚塚》2018年
- 遠藤薫《Molotov cocktail / Coke / Okinawa / 1945》2021年
- 喜屋武千恵《御中の草》1994年
- 寺田健人《公園、橋》2021年
- 胡宮ゆきな《橋梁》2021年
- 泉川のきな《ソチツ橋のシャツ》2015年
- ローラ・キナ《ハジチ》2015年
- 石垣克子《ライカカメラ交差点からの眺め》2017年
- 砂川書代《無題》1984年

Since the time of the Ryukyu Kingdom which traded with Asian countries, Okinawa has developed its own unique culture. However, in 1932, after becoming a part of Japan, the novel "Perishing Ryukyu Women's Memoirs" (originally titled "Sadness in a Corner") by Okinawan-born KUSHI Fusako was published in *Fujin Koron*, and was left unfinished due to protest against its expression of *Hajichi* and other customs from the Okinawa Prefectural Student Association in Tokyo.

This exhibition features artists who have taken up the issue of "discrimination and prejudice against the weak" that KUSHI tackled 89 years ago, and are now practicing a methodology that approaches the limits of expression in the 21st century. The exhibition features approximately 50 works by American artists with Okinawan Hawaiian roots, artists of the Okinawa Women Artists Association established in 1977 and artists who studied at the Okinawa Prefectural University of Arts. We hope that you will be able to feel the multicultural aspects and possibilities of Okinawan art and enjoy the new developments in art.

【問い合わせ】

〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号
Tel: 098-941-8200(代表)

主催 沖縄県立博物館・美術館

共催 (一財)沖縄美ら島財団

後援 (一社)沖縄県美術家連盟、沖縄県文化協会、那覇市文化協会、沖縄女流美術家協会、沖縄県造形教育連盟、NHK沖縄放送局、沖縄テレビ放送、琉球放送、琉球朝日放送、エフエム沖縄、ラジオ沖縄、沖縄タイムス社、琉球新報社、エフエム那覇、FMレキオ、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー、NPO法人沖縄県立美術館支援会 happ(順不同)

企画協力 居原田 遥 (インディペンデント・キュレーター)

【ご来館のみさまでお願い】

- ・発熱や風邪、体調がすぐれないお客様は来館をお控えください。
- ・来館の際は、マスクの着用をお願いいたします。
- ・こまめな手洗い・手指消毒にご協力ください。

【観覧料 Fee】

一般	Adult	¥ 1,100 (¥ 880)
高校・大学生	H. S. & Col. and Univ. Student	¥ 500 (¥ 400)
小・中学生	E. S. & J. H. S. Student	¥ 200 (¥ 160)

- ※()内は前売り・20名以上の団体料金
- ※障がい者手帳をお持ちの方、および介助者の方は当日料金の半額
- * Prices shown in () indicate advanced and group (more than 20 persons) discount tickets.
- * 50% discount for persons with disabilities (with presentation of the physical disability certificate) and one caretaker.

【フレイガイド】

ミュージアムショップゆいむい(沖縄県立博物館・美術館内)
ローソンチケット(コード81618)

【関連催事】会期中に関連催事を予定しています。
詳しくは当館ホームページをご覧ください。

詳しくはこちら



<https://okimu.jp>